

### 中小企業振興

津山誠心会議 中島 完一



**質問**→大型小売店舗の進出が相次ぐ中、中小企業・小売店を元気にし、商業環境を充実させるための対策は。

**答弁**→改正都市計画法に基づき、店舗面積が一万㎡を超える大規模集客施設の準工業地域への立地規制を目指すほか、他都市の事例を踏まえながら一万㎡以内の集客施設の立地規制などの研究も行う。しかし、土地利用の規制は私権の制約となり、慎重を期さなければならぬため、規制以外の方法による中小企業者への支援策も検討していく。

**質問**→土地規制以外の方法による中小企業の支援策とは。

**答弁**→中小企業融資において、信用保証協会が百分保障できる制度の制定や金融機関の費用負担分を軽減する方策に取り組んでいる。

### 行政評価で見えてきた課題は

公明党津山市議員 原 行則



**質問**→十九年度の事務事業総点検で、どのような課題が見えてきたか。

**答弁**→廃止六事業、縮小二十四事業、何

らかの改善を要するもの九十二事業を抽出した。そして、市職員の企業経営的な感覚がまだまだ不十分であり全職員が危機感を持つべきであると考え、**質問**→鶴山のさくらまつりの間、車いすの方は裏門管理道からは四日間しか入場を許されていない。平等に全て開放すべきではないか。

**答弁**→安全対策等から判断すると全ての期間の開放は困難だが、希望が多い場合は試行的な取り組みを検討する。

**質問**→勝北地域の農地・水・環境保全向上対策事業と用途指定の整合性は。

**答弁**→農業振興施策と都市計画の調整が必要であり関係機関と協議をする。

### 居住環境の整備で無給水地区に支援を

津山新星会議 倉持 照憲



**質問**→安心、安全な居住環境の整備の見地からも無給水地区の支援を。平成十六年の台風による激甚災害の復旧造利率は、「ごんごバス」の評価と本年度

の負担、他の自治体との協議は。

**答弁**→無給水地区の施設整備は国、県の補助制度がなく、経費すべてが申込者の負担となり、配水管の未整備地区では多額の費用が必要。今までの水道事業の考え方でなく、地域住民の負担が少ない「マイ水道」といった住民参加型の整備方法を協議している。森林災害復旧は本年度末には、九十%以上の復旧を目指している。支所間「ごんごバス」は支所と本所を結ぶ重要なパイプラインであり、市内「ごんごバス」とともに大いに寄与している。負担は四千二百万円になる。鏡野町、美咲町とで三線を共同運行している。

### 教育問題について

新風会 岡田 康弘



**質問**→津山市における具体的な教育改革への取り組みは。

**答弁**→第一に授業の改善を各校に指示。

子どもたちが考えを出し合い、主体的に課題を解決していくような指導法による授業を目指している。第二に「早寝早起き朝ごはん」運動「6015キヤンペーン」で、「六十分早く寝て十五分早く起き、朝ごはんをしっかり食べよう」と家庭にも連携を進めているように基本的な生活習慣の確立を目指している。第三に安全、安心の確保。不審者メールの配信、各校区の見守り隊結成、青少年健全育成団体との連携など進めている。

今後、このような学校・家庭・地域社会との連携を強化し、児童生徒の環境の改善に努力していきたい。